

ヨコハマ市民まち普請事業

第1次提案書

注1) 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。

注2) 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3) 添付資料は位置図、現況写真、活用イメージ図、その他資料、各A4版1ページ、余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	NPO法人史季の郷
現在の主な活動 内容・活動実績	矢向・江ヶ崎・尻手の歴史資料室及び交流室の運営、郷土史関係の冊子の発行、近隣小学校児童の為の昔の暮らし体験の実施、高齢者を対象とした介護予防・健康増進を目的としたつながりクラブの活動など、地域の歴史と文化を通じて様々な世代の地域交流活動を行っている。
提案場所	鶴見区 江ヶ崎町
提案名 (25字以内)	新たな事業展開と柔軟な地域交流拠点の整備
提案する施設（どのような施設の提案ですか）	歴史資料室及び交流室として活用している「史季の郷」の西側隣地に展示室兼研修室を増築し、現在展示している資料・現物を移設する事で、「史季の郷」で新たな事業、取組みを行える空間を確保し、世代間交流や新旧住民の繋がりが一層広がり、深まる場を整備する。 <u>整備費用の概算額：約 500万円</u>
活用イメージ（提案する施設でどのようなことを行いますか）	既存建物部を地域の交流スペースとして広く開放し、隣地で栽培している野菜を使つての地産地消カフェ、展示を見に来られた方同士の交流サロン、ボランティアの方が講師となって行う手芸教室とその作品販売、子育て世帯を対象とした子育て相談所、近隣小学校新入生の為の巾着袋作りや名前刺繍講座の開催など、新たな地域交流活動拠点として、多種多様な事業や取組みを行える場としていく。 新たな展示室兼研修室の活用方法として、児童、学生の為の昔の暮らし体験学習や、様々な地域の団体や企業に向けた講演を行う事で、地域内だけでなく区外、市外等、地域を超えた交流拠点として幅広く発信していく。
提案の背景（なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください）	来館者や運営に携わるボランティアから、カフェやサロン等、この場を活用した新しい交流の形を作りたい、といった声が多く寄せられた為、実際に一度カフェの実施を試みたことがあったが、空間の確保が難しく、うまくいかなかった事もあった。通り掛かる地域住民からも、手芸作品を販売してほしい、子育て相談できる場がほしいといった意見も多く頂いている。 矢向・江ヶ崎・尻手では今後も人口増加が想定され、若く新しい世代の住民が多く、新旧住民や世代間における交流が一つの大きな地域課題となっている。様々な活動を柔軟に行える場を作り、多様な地域住民が地域をより身近に感じられる取組みを行っていけるようにしたい。 また、「史季の郷」は平成28年の開館から約5年が経ち、街のシンボルとして認知され、地域に誇れるものとなっている。タウンニュースや新聞に取り上げられた事もあり、展示内容に興味を持つ方や外国籍の方が、市外、県外からも多く来館しており、学校や企業等の関係者等も含め、多種多様な来館者が増加している。その為、展示を見に来た同じ興味を持つ人が集まる場を整備し、新たな交流や繋がりが構築されていく事が期待される。

目指す地域の将来像（提案を実現することで、どのような地域にしたいと考えますか）	新しい活躍の場、気軽に交流することが出来る場が整備される事で、新旧住民や世代の異なる地域住民の繋がりが増え、地域住民みんなで作っていきけるような地域にしたいと考えている。特に、若く新しい世代から地域づくりの担い手が多く出るようにしていきたい。 そして、地域の魅力発信力が高まり、地域住民に魅力が浸透されるだけでなく、その魅力が地域外にも広く周知される事で、古くからの住民も、新しい住民も、自分たちの街を自慢したくなるような地域にしていきたい。
整備時の協働（つくるときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください）	矢向・江ヶ崎・尻手町内会、地区社協、地区内3校のPTA、地区内ボランティア団体、矢向地域ケアプラザ、矢向地区センター、新鶴見コミュニティハウス、地区内有志の協力を得て一体となって歴史と文化を大事にした町づくりを進めていく。内装については、地域住民やボランティアの方々の力を借りて、整備していく。
運営時の協働（運営するときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください）	運営委員の他に、常時活動出来るボランティアが50名以上在籍しており今後も多くの地域住民の協力が得られると考えている。お茶やお琴、折り紙、手芸、脳トレなどボランティアの方々の持つ様々な特技を生かしたボランティア活動を行うことが出来る。 資金面においては、イベント開催時に各町内会からの支援を得る事もあるが、本事業により今後一層の支援が見込まれる。また、現在の歴史資料室にはキッチンやトイレといった設備が整っており、カフェやサロンとして活用することが可能な為、今後はカフェの運営や手芸の作品販売、バザーの開催といった事を行い、継続的な資金調達を行っていく事も出来る。
その他提案について特にPRしたい点を記入してください。	史季の郷の場所は、隣接する新鶴見公園に遊びに来る親子、近所の園児達、福祉施設を利用されている高齢者のお散歩コースとして活用されており、矢向駅・尻手駅方面へと繋がる人道橋やバス停も近く、大きな商業施設も近くにある為、幅広い層の住民が集いやすい好立地となっている反面、ケアプラザまで距離があり、なかなか足を運べない住民が多い。新たな施設を整備する事で出張相談所としての機能も期待される。 現在まで行ってきた活動実績としては、スタンプラリーや歴史探索ウォーキングの実施、毎年開催しているさんまフェスティバル等地域を巻き込んだイベントを多く開催しており、地域に活動を広く周知されている。 高齢者に向けた「つながりクラブ」の活動、近隣の矢向小学校と新鶴見小学校の3年生に向けた社会科体験学習の実施といった学校支援活動を行うだけでなく、地域外の小学校へのお出張講演を行った実績も多くある。 タウンニュースの取材や、近隣図書館への冊子配架なども行いながら地域を超えた情報発信を行っており、今後更に活躍の幅を広げていきたい。

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいます。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
鶴見区区政推進課	整備の内容について、承知しました。引き続き、適正な手続きを行ってください。

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

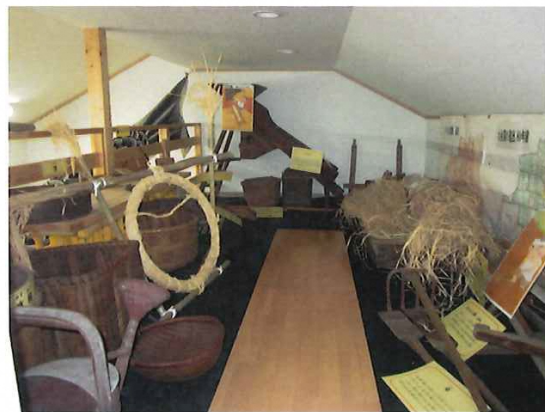
- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

矢向・江ヶ崎歴史資料室及び交流室

史季の郷



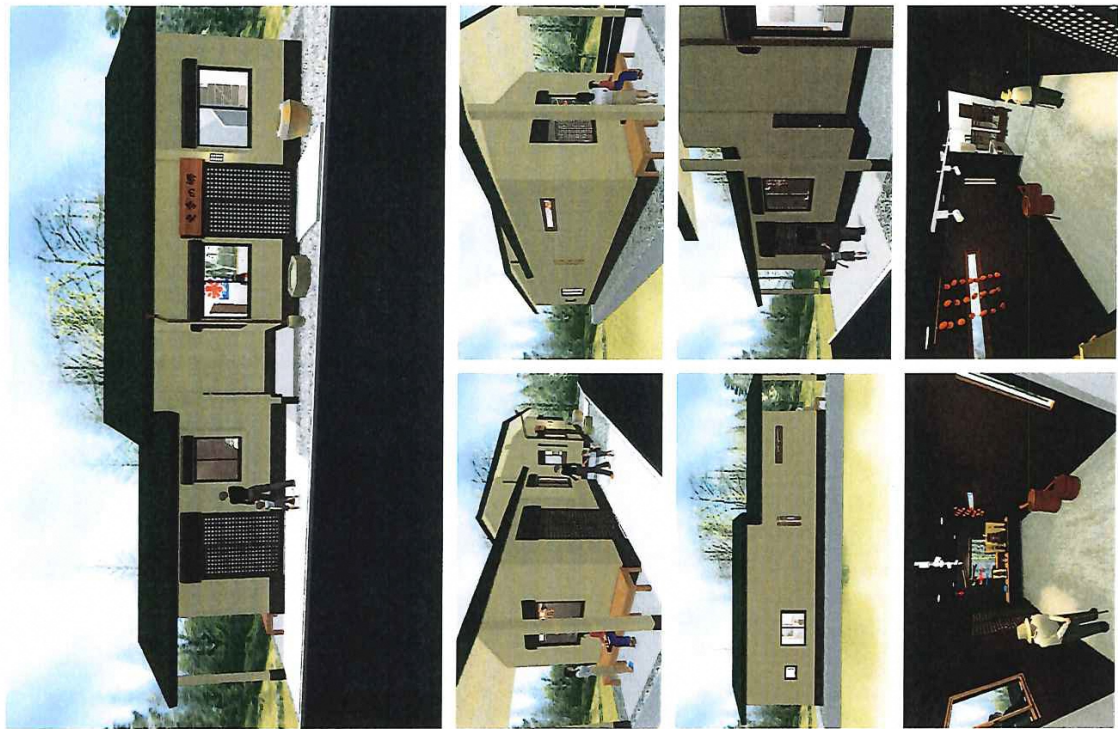
●史季の郷 現況写真



●史季の郷 イメージ図



●史季の郷 イメージ図



「史季の郷」令和2年度事業報告書

★NPO法人定時総会 令和3年5月16日実施 ★運営委員会 毎月第3日曜日

月	来館者	史の活動	歴史資料の展示	季の活動	季節の展示	郷の活動	教育支援の活動	展示会、講演会、資料の貸し出し	取材・視察	月
4										4
5										5
6	205	5/31 展示替え 戦争展 6/1~10/4	6/1 梅雨飾り 6/7 茅の輪づくり	6/16 操車場の音を聞く会 6/20 ハラとハッタを作る会 6/21 お琴教室	6/21 運営委員会 6/21 郷土史研究会	6/11 わおおお保育園(先生3名園児10名) 6/23 ? 保育園(先生2名園児8名)	6/21 運営委員会	6/4 新鶴見小学校校長 6/6 新鶴見小学校コミュニティハウス館長 6/7 矢向小学校教員1名 6/23 矢向4丁目元町会長		6
7	112		7/1 七夕飾り	7/21 お琴教室	7/5 郷土史研究会		7/19 運営委員会 7/23 消毒・検温・記名等コロナ対策実施			7
8	131		7/21 夏の飾り		8/2 郷土史研究会	8/21 新鶴見小学校4年生見学(引率4名 児童29名)	8/27 メダカ盗難にあり、新しくメダカの赤子を放流 「つながり事業」打合せ			8
9	94		9/1 菊の節句飾り	9/18 操車場の音を聞く会 9/19 花とハッタを作る会	8/16 運営委員会 8/16 郷土史研究会 8/22 脳トレ(塗り絵)					9
10	159	10/5 展示替え むかしの暮らし展10/10~2/4	10/1 ハロウィン飾り (コンニャクイモ展示)	10/1 昔遊び教室 10/5 昔の話を聞く会 10/6 十日夜道具づくり	10/4 郷土史研究会 10/18 運営委員会 10/24 手芸教室(腕輪づくり)		10/31 農具等多数寄贈される			10
11	168		11/6 収穫祭り 11/14 フラ鉄砲づくり	10/8 ポンプ・脱穀体験教室 11/15 お琴教室 11/17 ふんぶんゴマ教室	11/15 運営委員会 11/15 郷土史研究会 11/28 脳トレ(脳トレプリント)		11/24 十日夜 美演会			11
12	314		12/8 運盛り飾り 12/22 しめ縄づくり 12/27 正月飾り	12/19 石臼体験教室 12/20 お琴教室	12/6 郷土史研究会 12/20 運営委員会 12/20 郷土史研究会	12/26 昔のくらし体験教室 矢向小学校3年生4クラス 36名×4クラス =144名 先生副校長他9名 ボランティア12名	12/8 コニャクづくり 体験会 12/27 鶴見区役所区制推進課 打合せに向く			12
1	68		1/17 小正月飾り 1/20 節分飾り	1/14 折り紙教室 1/17 お琴教室 1/30 折り紙教室	1/17 運営委員会 1/17 回想法 1/23 回想法(旅の思い出)		1/12 まゆ玉飾りづくり体験会			1
2	222	2/5 展示替え 2/6 ひな人形展(2/6~4/1)	2/5 桃の節句飾り	2/21 お琴教室	2/14 郷土史研究会 2/21 運営委員会 2/21 郷土史研究会 2/27 手芸教室(折り紙)	2/9 ? 保育園(先生2名 園児7名) 2/9 ? 保育園(先生3名 園児10名) 2/11 新鶴見小学校3年生 普済ひ体験 2/16 わおおお保育園(先生2名 園児7名) 2/16 新鶴見小学校3年生4クラス(洗濯・火起こし、薪割体験)	2/1 操車場展示資料貸出(矢向地域ケアプラザ)2か月 2/9 鶴見区土木課と打合せに向く			2
3	329	3/31 展示替え	3/20 ハッタづくり教室 3/31 端午の節句飾り	3/7 郷土史研究会 3/21 運営委員会・理事会	3/3 汐風保育園(先生5名園児11名) 3/3 ? 保育園(先生4名園児9名) 3/3 ? 保育園(2名園児13名) 3/23 尻手保育園(先生2名園児15名) 3/23 つほみ保育園(先生3名園児11名)	3/20 歴史ウォーキング(梶山方面) 3/22 「なつかしの新鶴見操車場」発刊	3/20 タウンニュース取材 (新鶴見操車場冊子について)			3

コロナウイルス対応で休館